メンテナンス コンソールのメニュー

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/config/concept_maintenance_console_menu.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

メンテナンス コンソールのメニュー . . . 1
Active IQ Unified Manager のメンテナンスコンソールメニューについて . . . 1
Active IQ Unified Manager のネットワーク設定メニュー . . . 1
Active IQ Unified Manager のシステム構成メニューを使用する . . . 3
Active IQ Unified Manager のサポートと診断メニューを使用する . . . 4
Active IQ Unified Manager のメンテナンスコンソールの追加メニューオプションについて . . . 5

メンテナンス コンソールのメニュー

Active IQ Unified Manager のメンテナンスコンソールメニューについて

メンテナンスコンソールは、Unified Manager サーバーの特殊機能や構成設定を維持・管理するための様々なメニューで構成されています。

Unified Managerをインストールしたオペレーティングシステムによって、メンテナンスコンソールは以下のメニューで構成されます：

- Upgrade Unified Manager（VMwareのみ）
- Network Configuration（VMwareのみ）
- System Configuration（VMwareのみ）
  a. Support/Diagnostics
  b. Reset Server Certificate
  c. クライアント証明書を再生成する
  d. Backup Restore
  e. External Data Provider
  f. Performance Polling Interval Configuration
  g. SAML認証の無効化
  h. View/Change Application Ports
  i. Debug Log Configuration
  j. Control access to MySQL port 3306
  k. 終了

特定のメニューオプションにアクセスするには、リストから番号を選択します。たとえば、バックアップとリストアの場合は、_4_を選択します。

Active IQ Unified Manager のネットワーク設定メニュー

[Network Configuration]メニューでは、ネットワーク設定を管理することができます。このメニューは、Unified Managerユーザ インターフェイスを使用できない場合に使用してください。

Unified ManagerがRed Hat Enterprise LinuxまたはMicrosoft Windowsにインストールされている場合は、このメニューを使用できません。

表示されるメニュー項目は次のとおりです。

- **IP**アドレス設定の表示

仮想アプライアンスの現在のネットワーク設定が表示されます（IPアドレス、ネットワーク、ブロードキャスト アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバなど）。

- **IP**アドレス設定の変更

  仮想アプライアンスのネットワーク設定（IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバーなど）を変更できます。メンテナンスコンソールを使用してネットワーク設定をDHCPから静的ネットワークに変更した場合、ホスト名を編集することはできません。変更を反映させるには、*変更を確定する*を選択する必要があります。

- ドメイン名検索設定を表示する

  ホスト名の解決に使用されるドメイン名検索リストが表示されます。

- ドメイン名検索設定を変更する

  ホスト名の解決時に検索対象とするドメイン名を変更できます。変更を反映させるには、*変更を確定する*を選択する必要があります。

- 静的ルートの表示

  現在の静的ネットワーク ルートが表示されます。

- 静的ルートの変更

  静的ネットワークルートの追加または削除を可能にします。変更を反映させるには、*変更を確定する*を選択する必要があります。

  - ルートを追加

    静的ルートを追加することができます。

  - ルートを削除

    静的ルートを削除することができます。

  - 戻る

    メインメニューに戻ります。

  - 終了

    メンテナンス コンソールを終了します。

- ネットワークインターフェースを無効にする

  利用可能なネットワークインターフェースをすべて無効にします。利用可能なネットワークインターフェースが1つしかない場合、それを無効にすることはできません。変更を反映させるには、*変更を確定する*を選択する必要があります。

- ネットワークインターフェースを有効にする

  利用可能なネットワークインターフェースを有効にします。変更を反映させるには、*変更を確定する*を

選択する必要があります。

- 変更をコミットする

  仮想アプライアンスのネットワーク設定に加えた変更を適用します。変更を有効にするには、必ずこのオプションを選択します。そうしないと、変更は適用されません。

- ホストにpingを送信

  IPアドレスの変更やDNS設定を確認するために、ターゲット ホストにpingを実行します。

- 初期設定に戻す

  すべての設定を工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。変更を反映させるには、*変更を確定する*を選択する必要があります。

- 戻る

  メインメニューに戻ります。

- 終了

  メンテナンス コンソールを終了します。

Active IQ Unified Manager のシステム構成メニューを使用する

[System Configuration]メニューには、仮想アプライアンスを管理するためのさまざまなオプションが用意されています（サーバ ステータスの表示、仮想マシンのリブートとシャットダウンなど）。

> Unified ManagerがLinuxまたはMicrosoft Windowsシステムにインストールされている場合、このメニューからは「`Restore from a Unified Manager Backup`」オプションのみが利用可能です。

表示されるメニュー項目は次のとおりです。

- サーバーの状態を表示する

  現在のサーバ ステータスを表示します。ステータスには「Running」と「Not Running」があります。

  サーバが実行されていない場合は、テクニカル サポートに連絡することを推奨します。

- 仮想マシンの再起動

  すべてのサービスを停止して仮想マシンをリブートします。リブート後、仮想マシンとサービスが再起動します。

- 仮想マシンのシャットダウン

  すべてのサービスを停止して仮想マシンをシャットダウンします。

このオプションは、仮想マシン コンソールからのみ選択できます。

- **<logged in user>** ユーザーパスワードの変更

  現在ログインしているユーザ（メンテナンス ユーザ）のパスワードを変更します。

- データディスクサイズを増やす

  仮想マシンのデータ ディスク（ディスク3）のサイズを拡張します。

- スワップディスクサイズを増やす

  仮想マシンのスワップ ディスク（ディスク2）のサイズを拡張します。

- タイムゾーンを変更する

  タイムゾーンを現在の場所に変更します。

- **NTP**サーバーを変更する

  NTPサーバの設定を変更します（IPアドレスや完全修飾ドメイン名（FQDN）など）。

- **NTP**サービスの変更

  ```
  `ntp`と `systemd-timesyncd`のサービスを切り替えます。
  ```

- **Unified Manager**バックアップからの復元

  以前にバックアップしたバージョンから、Unified Managerのデータベースと構成設定を復元します。

- サーバー証明書のリセット

  サーバ セキュリティ証明書をリセットします。

- ホスト名の変更

  仮想アプライアンスがインストールされているホストの名前を変更します。

- 戻る

  [System Configuration]メニューを終了して[Main Menu]に戻ります。

- 終了

  メンテナンス コンソール メニューを終了します。

Active IQ Unified Manager のサポートと診断メニューを使用する

「サポートと診断」メニューを使用すると、トラブルシューティングの支援を受けるた

めにテクニカルサポートに送信できるサポートバンドルを作成できます。

表示されるメニュー オプションは次のとおりです。

- ライトサポートバンドルを生成

  30日分のログと構成データベース レコードのみを含む軽量なサポート バンドル（パフォーマンス データ、取得記録ファイル、サーバ ヒープ ダンプは含まれません）を作成できます。

- サポートバンドルを生成する

  診断ユーザーのホームディレクトリに、診断情報を含む完全なサポートバンドル（7-Zipファイル）を作成できます。システムがインターネットに接続されている場合は、サポートバンドルをNetAppにアップロードすることもできます。

  ファイルには、AutoSupportメッセージによって生成された情報、Unified Managerデータベースの内容、Unified Managerサーバーの内部に関する詳細データ、および通常はAutoSupportメッセージや軽量サポートバンドルに含まれない詳細レベルのログが含まれています。

Active IQ Unified Manager のメンテナンスコンソールの追加メニューオプションについて

以下のメニューオプションを使用すると、Unified Managerサーバー上でさまざまな管理タスクを実行できます。

表示されるメニュー項目は次のとおりです。

- サーバー証明書のリセット

  HTTPSサーバ証明書を再生成します。

  Unified Manager GUIでサーバー証明書を再生成するには、**General** > **HTTPS Certificates** > *Regenerate HTTPS Certificate*をクリックします。

- **SAML**認証を無効にする

  SAML認証を無効にすることで、IDプロバイダー（IdP）がUnified Manager GUIにアクセスするユーザーに対してサインオン認証を提供しなくなります。このコンソールオプションは通常、IdPサーバーまたはSAML構成の問題により、ユーザーがUnified Manager GUIにアクセスできない場合に使用されます。

- 外部データプロバイダー

  Unified Managerを外部データプロバイダーに接続するためのオプションを提供します。接続が確立されると、パフォーマンスデータが外部サーバーに送信され、ストレージパフォーマンスの専門家がサードパーティ製ソフトウェアを使用してパフォーマンス指標をグラフ化できるようになります。以下のオプションが表示されます：

  - サーバー構成の表示--外部データプロバイダの現在の接続と構成設定を表示します。
  - サーバー接続の追加/変更--外部データプロバイダの新しい接続設定を入力したり、既存の設定を変更したりできます。

- サーバー構成の変更--外部データプロバイダーの新しい構成設定を入力したり、既存の設定を変更したりできます。
- サーバー接続の削除--外部データプロバイダへの接続を削除します。

  接続を削除すると、Unified Managerは外部サーバから切断されます。

- バックアップ復元

  詳細については、"バックアップとリストア処理の管理"のトピックを参照してください。

- パフォーマンスポーリング間隔設定

  Unified Managerがクラスターからパフォーマンス統計データを収集する頻度を設定するオプションを提供します。デフォルトの収集間隔は5分です。

  大規模なクラスタからの収集が時間内に完了しない場合は、この間隔を10分または15分に変更できます。

- アプリケーションポートの表示/変更

  Unified ManagerがHTTPおよびHTTPSプロトコルに使用するデフォルトのポートを変更するためのオプションを提供します（セキュリティ上必要である場合）。デフォルトのポートは、HTTPの場合は80、HTTPSの場合は443です。

- **MySQL**ポート**3306**へのアクセスを制御します

  ホストからデフォルトのMySQLポート3306へのアクセスを制御します。セキュリティ上の理由から、Linux、Windows、およびVMware vSphereシステムへのUnified Managerの新規インストール中は、このポートを使用したアクセスはローカル ホストに限定されます。このオプションを使用すると、このポートの認識をローカル ホストとリモート ホストの間で切り替えることができます。つまり、このオプションをローカル ホストに対してのみ有効にすると、リモート ホストでポート3306を使用できるようにすることができます。逆に、すべてのホストに対して有効にすると、このポートのアクセスをローカル ホストに限定できます。アップグレード前にリモート ホストでアクセスが有効になっていれば、アップグレード後もその設定が維持されます。ポートの認識を切り替えたら、Windowsシステムのファイアウォール設定を確認し、MySQLポート3306へのアクセスが制限されている場合はファイアウォールの設定を無効にする必要があります。

- 終了

  メンテナンス コンソール メニューを終了します。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。